### 2021 年度実施概要

## 学校名

新潟市立真砂小学校

### 採択活動名

大好き新潟「見つめよう真砂の自然・守ろう自然環境」 (身近な環境に関する課題を見つけて解決し、発信する)

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 見つめよう真砂の自然・守ろう自然環境	4学年	総合
2.		
3.		

#### 取り組みの概要

- 大好きな真砂の海の環境を守るために、当校では 26 年間、新潟海上保安部と協力し、海岸清掃を行っている。
- 昨年度までに、当校第4学年は、海岸清掃をきっかけに総合的な学習の時間で真砂の海の環境を守る ための学習プログラムを構築した。具体的には、海岸清掃で集めたごみの種類を分別することでプラス チックごみがとても多いことに気付いたり、外国からのごみが流れ着いていたりすることに気付いたり した。そして、海を利用する人々に向け、ごみを持ち帰ること、海の環境を一緒に守ることを呼び掛け る啓発ポスターを作成し、海の施設に掲示してもらった。

昨年度は、この取組が評価され、新潟県環境賞「環境大賞」を受賞した。また、今年度も、環境美化 教育表彰「環境大臣賞」を受賞した。

- 今年度は、実際に海へ足を運ぶ機会を増やした。海岸清掃前には、子どもが海岸にはどれだけごみが落ちているのかという疑問をもったため、海岸に調査しに行った。また、海岸清掃後しばらく経った後にも、また海が汚れていないかを調べに出掛けた。さらには、海水浴シーズン後にも砂浜の汚れを調べてに足を運んだ。多少のごみは散乱していたが、概ねきれいな状態は保たれていて、啓発活動の成果を実感した。
- 海洋環境保全について全国の小中学校の事例を調べようとしていたところ、海洋教育パイオニアスクール指定校である長野県松本市立安曇小学校の5年生から、当校4年生にマイクロプラスチックに関する調査の依頼が来た。当校の学習の様子をHPで知り、連絡を取って来たのである。

プラスチックの膜で覆われた農業用肥料が、信濃川の河口に流れ着いていないかという安曇小学校の 疑問を受け、当校4年生はこの農業用肥料が社会問題になっていることを知り、実際に海岸へ出掛け、 調査した。調査の結果、この農業用肥料がマイクロプラスチックとなって河口にもたくさん発見された。

そこで、調査の報告のため、オンラインで安曇小学校と交流した。予想が当たっていたことで、安曇 小学校の5年生は驚いていた。また当校にとっても、新たな環境汚染を知るよいきっかけとなった。

両校の交流は続き、3月には安曇小学校児童が「信濃川が下流にいくとなぜ汚れるのか」についてまとめたものをオンラインで発表してくれた。当校も、環境を維持するために、ビニール袋ではなくエコバックを利用したり、川の水を汚さぬよう洗剤を使い過ぎないようにしたりする大切さを発表した。

# 活動中の写真

デジタルデータにて2~3枚の添付をお願いします。

(本ファイルへの貼り付け、別ファイルでの添付、どちらでも構いません)



海岸清掃の様子



安曇小との交流会①の様子



啓発ポスター作製の様子



安曇小との交流会②の様子